

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の算数では、日常生活の問題解決のために、複数の情報から論理的に考え、説明することについて、全国平均を大きく上回る高い正答率でした。また、グラフなどの資料を読み取り整理するような思考力を求められる設問で、全国平均を上回る正答率でした。これは、本校が算数の授業等で自分の考えをもち根拠を示して表現する活動を多く取り入れたことが結果に反映されたものと思われる。

質問紙調査の結果から、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、肯定的に回答した児童は89.3%と、昨年度の同一児童の結果と比べて約17ポイント上昇していました。これは自主学習の手引きを作成するとともに、家庭学習の目的や意図を児童や家庭へ説明する取組が結果に反映されたものと思われる。

課題と対応

今年度の結果から国語では、「目的に応じて話の内容が明確に伝わるように話題の構成を考える」ことに課題がみられました。そこで、国語の授業を中心に、自分の考えを伝えるときに相手を意識して行う活動に繰り返し取り組むことで表現力を培っていきたいと考えています。また、算数では速さに関する問題や商が1よりも小さくなるわり算の問題に課題がみられました。そこで、日々の授業の中で、これまでの学習内容を活用できるように授業を計画するとともに、朝学習や家庭学習を利用し、学習内容の定着を図っていきたいと考えます。

質問紙調査の結果から、「毎日同じ時刻に起きているか」や「携帯電話等の使い方について、家の人と約束したことを守っているか」について肯定的に回答した児童が全国平均と比べて少ないということが分かりました。「健康バランスチェック」カードを使って規則正しい生活習慣の確立を目指すとともに、「メディアコントロールウィーク」で、メディア使用をコントロールしながら生活状況の改善につながるよう指導していきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

今回の調査結果から、「自分にはよいところがあるか」という質問に対して肯定的な回答率が高くなっていました。保護者の皆様や地域の方々が子どもたちを温かく見守り育ててくださっていることも要因の一つと考えられます。中学校区で一斉に取り組んでいるメディアコントロールウィークをきっかけに、生活時間を見直したり、ゲームやインターネットなどをする時間をコントロールしたりできるよう、子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。今後も子どもたちが目標に向かって頑張っている姿を見かけられましたら声をかけてほめてくださいますようお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	話し合いにふさわしい言葉遣いを理解している。
	社会	岡山市の土地の広がりと人口の変化を関連付けて考え、表現することができている。
	算数	基本的な四則計算をすることができている。
	理科	物の重さの実験の結果をもとに、めあてに合わせてまとめを書くことができている。
	学習状況	読書が好きな児童が多い。
第5学年	国語	聞き手に分かりやすい話し方の工夫を考えている。
	社会	ごみの処理の仕方に工夫を理解している。
	算数	長方形の横の長さを求めることができている。
	理科	星座の動き方を理解している。
	学習状況	ほとんどの児童が読書が好きと考えている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	説明文の内容を正しく読み取ることに課題がある。	各教科において問題文や選択肢など文章に書かれている内容を正確に理解することに課題があると考えられる。そこで「授業ごとの『めあて』や『まとめ』を児童とともに考えること」や、「文章の内容を整理しながら必要な情報を選び出す活動や資料の特徴を見つけて比べ、文や言葉で表現できる場を意図的に設定すること」、「実験や観察などの学習経験をさらに広げること」などを視点に、授業改善を図っていきたい。 学習状況については、ゲーム等に接する時間が長い児童が多いことに課題がある。児童自身が長時間ゲーム等をすることの弊害について考えるようにするとともに、「やってよかった。」と振り返ることのできるメディアコントロールの取組にしていきたい。また「メディアコントロールウィーク」を使って家庭学習の習慣化を意識付け、自主学習の取組も指導していきたい。
	社会	地図や資料から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	数量の関係を式にして計算することに課題がある。	
	理科	虫めがねの正しい使い方を身に付けることに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりゲームやインターネットをしている時間が長い児童の割合が高い。	
第5学年	国語	第4学年配当漢字を正しく書くことに課題がある。	今後の授業を通しての改善策としては、「授業ごとの『めあて』や『まとめ』を児童とともに考えること」や、「資料や図表から読み取ったことを言葉で表現する活動を取り入れる」とともに、「各教科で学習した知識や技能を必要感をもって活用できるような場面を意図的に設定していくこと」、「漢字や計算ほか基礎的な事項の習得のための確認や習熟の時間を継続して確保していくこと」などを授業を通して行っていきたい。 学習状況については、家庭学習の手引きに取り組む時間の目安を提示するだけでなく、家庭学習の内容も児童が意欲的に取り組めるような内容をより具体的に提示していきたい。また、「メディアコントロールウィーク」を使って、メディアコントロールをしながら家庭学習の時間をうまく生み出せるように指導していきたい。
	社会	ごみの減量について、自分の生活と関連付けて対処の仕方を考え、表現することに課題がある。	
	算数	工夫して面積を求めることに課題がある。	
	理科	実験結果などから得た知識と生活経験を結び付けて説明することに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

今回の調査結果から、家庭学習の時間が短く、ゲーム等に費やす時間が長い傾向があることが分かりました。今後は、中学校区で一斉に取り組んでいるメディアコントロールウィークをきっかけに、家庭での学習時間の目安を伸ばしたり、宿題だけでなく自分で計画を立てて復習や予習をしたり、ゲームやインターネットなどをする時間をコントロールしたりできるように、子どもたちと一緒に考えていきたいです。また、家の人と学校での出来事について話をしていてと答えている児童の数は少なくありませんので、子どもたちが目標に向かって頑張っている姿を見かけられましたら、声をかけてほめてくださいますようお願いいたします。